

ひの 議会だより

No. 102

平成 26 年 7 月
発行/日野町議会



6月定例会 主な内容

平成26年度補正予算		p 2~ 8
常任委員会活動報告		p 9
一般質問 (5人)		p 10~14
議会報告会		p 15
特集コーナー		p 16

温水プールで健康づくり
下黒坂の野菜出荷グループ
会員は、健康づくりの一環と
して集落内の温水プールで、
体を鍛えています。

(裏表紙に関連記事)

6月定例会

第4回定例会は、6月11日に開会し、会期を6月17日までの7日間とし、平成26年度補正予算4件、条例の一部改正4件、条例の制定1件を原案どおり可決しました。一般質問では、5人の議員が活発な質問・意見を展開しました。

補正予算の主な事業

(7ページまで掲載)



保育料軽減 約300万円

審議の経過

議員 軽減措置の内容は。
課長 全ての児童が軽減対象で下記の表のとおりです。
議員 知事は保育料無償化を提案しているが、無償化に取り組んでいないのはなぜか。
町長 全て無償化すると、施設の増築、職員の増員等、対応できない部分が出てくる。県下の町村では、それぞれが独自に対応している。
議員 実施は、いつからか。
課長 6月に各世帯の所得が確定するので、7月から実施する。
議員 鳥取県の補助制度を活用をして、近隣町村は無償の町村もあるが、本町との違いは。
課長 日南町は、第1子は、本町より軽減率は低く、基準額の2分の1、第2子は、本町と同じ。第3子からは無料。
江府町は、第1子から無償。(給食費7000円は徴収)

	現 行	新たな軽減措置
第1子	軽減措置なし	基準額の2/3に軽減
第2子	兄弟2人以上の同時入所に限り軽減措置あり ①第1子・第2子同時入所の場合、基準額の1/2に軽減 ②第2子・第3子同時入所の場合、基準額の1/3に軽減	基準額の1/3に軽減 第1子・第2子同時入所の場合、軽減後の額の1/2に軽減
第3子以降	基準額の1/3に軽減 ただし、第2子・第3子同時入所の場合、基準額の1/2に軽減 3人同時入所の場合、無料	給食費相当分の負担 第2子・第3子同時入所の場合、給食費相当額の1/2に軽減 3人以上同時入所の場合、3人目から無料

議員 軽減の財源は。
課長 軽減額の半分は県補助金、残りは単町費で賄う。

(9ヶ月分概算)

第3子以降負担額(給食費相当)月額		
	3歳未満児	3歳以上児
第1階層	300円	150円
第2・3階層	1,800円	1,500円
第4階層	7,500円	5,500円
第5～8階層	8,000円	6,000円

現行 保育料徴収額 6,295,860円
軽減後保育料徴収額 3,316,140円
差し引き 2,979,720円

鳥取県中山間地域市町村保育料無償化等モデル事業補助金
(差し引き金額の2分の1) **148万円**

『コイデイナーター』を配置



日野高校

審議の経過

議員 日野高校の今後のあり方の中で、設置されるコイデイナーターの役割は。
町長 日野郡という地域の学校、企業等を含めた地域ニーズをまとめること。
議員 日野高校との関係は。
町長 郡内中学校Ⅱ郡内行政Ⅱ地域が連携することにより、日野高校の存在感を高め、日野高校の魅力向上を推進するために活動する。

日野高校魅力向上事業
コイデイナーター1名雇用
269万円



LED防犯灯

LED防犯灯を設置する自治会に対して、1基あたりの費用3万円を上限とし、3/4を助成する。

審議の経過

議員 町内に防犯灯は、何基あるか。
課長 約300基ある。
議員 どのような計画で、推進するのか。
課長 各自治会、1年10基までを助成対象とし、5年間で町内の防犯灯をLED化にしたい。

防犯灯をLED化 自治会に設置補助

145万円

買い物サービス

実証実験事業委託費

250万円



御用聞きイメージ図

審議の経過

議員 事業の内容は。
課長 商工業者の新たな可能性と活性化を図るため、商工会職員が「あいきょう」の移動販売車に同行し、買い物サービスや新たな顧客の開拓を行うことで、住民の買い物利便性の向上、商工業の活性化につながる実証実験を、商工会に委託する事業です。
議員 どういう形態で行うのか。
課長 主に食料品を販売する「あいきょう」に商工会が雇用した御用聞き係が、別の車で同行する。
「あいきょう」の取り扱い品目以外の商品や要望を聞いて商工会内の事務員に連絡する。
事務員は、各商店に発注し、御用聞き係が商品を届ける。
例としては、クリーニング、屋根の雨漏り修繕、蛍光灯の交換なども考えられる。その顧客ニーズを調査する。

見守りと買い物支援 実証事業委託費 300万円

審議の経過

議員 現在も買い物支援を兼ねて見守りをしているが、今回の実証事業委託費の内容は。
課長 鳥取県が新たに創設した中山間地域買物福祉サービス実証事業補助金(200万円)を受け、移動販売業者による見守りと買い物支援の実証事業をする。
議員 今までの見守りと、この事業はどこが違うのか。
課長 移動販売を兼ねて見守りをしていただいているが、今回は、買い物に出てこれない世帯への安否確認もしていた。
対象世帯は、約120世帯を見ている。



移動販売車

移住定住・空き家対策事業

616万円

家財道具一時預かり事業 9000円
空き家に置かれたままになっている家財道具を無償で預かり、空き家バンクへの登録を促進する。
県の施設「日野寮」を、県から無償で借り受けて保管場所にするための火災保険料。
移住者向け住宅整備費補助金 (一般) 200万円 (若者向け) 300万円
空き家バンクに登録し貸し出し目的で修繕を行う場合、費用の一部を補助。
(1/2 上限100万円)
若者向け補助金上乗せ(2/3 上限150万円)
空き家管理人奨励金 15万円
空き家登録物件に入居した場合、その所有者に対し奨励金を支払う。(3万円/件)
空き家コーディネーター奨励金 15万円
空き家コーディネーター登録した者が仲介した物件に入居した場合に奨励金を支払う。(3万円/件)

家財道具一時預かり事業

9000円

家財道具処分支援補助金

80万円

移住定住のために空き家を活用する場合、家財道具の処分に要する費用を助成。(10/10 上限40万円)

移住者向け住宅整備費補助金

(一般) 200万円

(若者向け) 300万円

空き家バンクに登録し貸し出し目的で修繕を行う場合、費用の一部を補助。
(1/2 上限100万円)
若者向け補助金上乗せ(2/3 上限150万円)

空き家管理人奨励金

15万円

空き家登録物件に入居した場合、その所有者に対し奨励金を支払う。(3万円/件)

空き家コーディネーター

奨励金 15万円

空き家コーディネーター登録した者が仲介した物件に入居した場合に奨励金を支払う。(3万円/件)

審議の経過

議員 移住定住には県などの補助金がある。単町費で計上されているのはなぜか。
課長 県外者の入居に対しての補助金で、本町は町外者も可とする。入居者の状況を見て、補助金を申請したい。
議員 空き家改修後の借り受け期間は、何年を想定しているか。
課長 10年を考えている。
議員 家賃、付属建物、土地、畑などの基本的考え方は。
課長 賃借は所有者と町、売買は所有者と借主とで行ったらと考えている。

移住者サポート事業

6万円

移住者の会を立ち上げ、その意見を移住定住施策に反映させる。



空き家対策イメージ図

日野町役場
**庁舎前駐車場出入り口の
 坂に手すりを設置**

山村開発センター
調理実習室洗い場設置
 大きな鍋等が洗える専用の洗い場を設置

計 130万円



調理実習室

**障がい者総合支援
 役場庁舎内施設整備費**

80万円

議員 設備の内容は。
 課長 視覚障がい者を、玄関から庁舎内にスムーズに誘導するため改修。
 ①音声ガイドシステムの設置
 ②点字ブロックの設置
 視覚障がいのある方が来庁し、音声ガイド機器を利用したとき、事務室にメロディが鳴り、職員が玄関まで出迎える。



音声ガイドシステム（庁舎玄関）

**しっかり守る農林基盤交付金事業
 荒神原水路修繕費用の補助**

32万円

議員 事業の財源及び概要は。
 課長 事業費40万円、2割は受益者負担、残りは町と県が負担。
 水路L17m（底張り及び側壁）修繕。受益戸数9戸。
 受益面積2.7ヘクタール。



荒神原水路

出前図書館車維持管理費

27万円

議員 管理費の概要は。
 課長 図書館事業用に軽自動車の寄贈を受けた。
 これにより、移動図書館サービス、出前貸し出し、お話しの出前等の事業が効率的に実施できる。
 その車の維持管理費用。



出前図書館準備作業



リバーサイド

**日野町交流センター リバーサイドひの
 LED照明に**

473万円

議員 財源は。
 課長 エントランスホール、談話室、食材供給室、研修室、廊下等の照明を更新。
 金、440万円を充てる。
 議員 照明器具の数は。
 課長 全部で156基。
 議員 電気料の削減は。
 課長 年46万円を予想。

町道根雨西側線道路改良事業 （特老施設あいご横の町道）

町道西側線と町道上町線交差点部の道路拡幅事業に伴う住宅解体工事請負費

108万円

議員 道路改良事業の概要は。
 町長 故吉本美彌子氏より家屋・土地の寄付を受けた。
 解体後、町道上町線交差点の拡幅を基本に設計する。
 完成は、今年度末を目標としている。



解体家屋



中学校技術教室

中学校環境整備

技術教室棟屋根等修繕工事

246万円

体育館水銀灯安定器取替

113万円

2階・3階 男女トイレ一部洋式化

240万円

一般財団法人 日野町農林振興公社

(平成25年度収入支出決算)
農作業受託事業は、減少
転作等受託作業が増加の傾向

(円)		
基本財産運用収入	基本財産利息収入	0
受託事業収入	耕転作業料	143,766
	荒かき作業料	221,436
	代かき作業料	354,652
	田植え作業料	966,456
	刈取り作業料	5,732,990
	運賃	449,817
	転作受託作業料	4,974,379
そば等事業収入	その他の作業料	2,625,940
	粉、玄そば等販売収入	1,526,500
補助金等収入	野菜・水稻収入	1,374,638
	日野町助成金	1,000,000
雑収入	交付金・出損金	29,950,490
	受取利息収入	2,354
駐車場管理	その他	99,881
		145,800
その他の収入	経営安定対策交付金	1,321,750
事業活動収入合計		50,890,849
当期収支差額		18,804,740

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで (円)		
受託事業支出	賃金	4,093,160
	燃料費	1,230,932
	修繕費	997,395
	点検・整備費	129,076
	資材費	775,911
	自動車借上げ料	365,755
	農機具庫借上げ料	308,000
	保険料	296,199
そば事業費支出	事業雑費	317,390
	備品消耗品	82,213
	原材料	592,390
	賃金	323,200
	消耗品費	0
	光熱費	120,000
	資材費	0
	事業雑費	17,640
管理費支出	報酬・賃金等	5,320,500
	社会保険等	898,026
	借上げ料	22,350
	賃借料	0
	公租公課費	256,136
	事務、会議費	205,136
その他の支出	委託費	210,000
	借入返済・基本財産繰入外 法人・住民・事業税	15,000,000 524,700
事業活動支出合計		32,086,109

汚泥再生処理センター
整備計画進捗状況を学習

5月29日、平成24年度より計画が進められている、日野町江府町日南町衛生施設組合の汚泥再生処理センター（清化園）整備計画について、柴田孝志事務局長から進捗状況の説明を受け、学習会を行いました。

昭和39年以来、増設・改造を続けて来ていましたが、国の循環型社会形成推進交付金制度を活用し、資源化設備を備えた施設に整備していくものです。

平成24年度、25年度は調査・基本計画を作り、26年度には発注準備、27年度から設計・工事し、29年度に



清化園

経済委員会
総務委員会
報告

は施設の供用開始の予定ですが、全体の工事費は、約16億円を見込んでいますとの説明を受けました。

常任委員会は、人口減少や環境保全、また設備の安定性や・耐久性など将来考えられる事態も想定し、計画の段階からの学習を行ったものです。

計画は順調に進められています。委員会は、今後も報告を受けながら、学習を行っていきます。

6月定例会 平成26年度補正予算

会計区分	補正予算	採決
一般会計	4,977万円	出席議員全員賛成 欠席者 安達幸博議員
簡易水道特別会計	286万円	
公共下水道事業特別会計	343万円	
農業集落排水事業特別会計	52万円	

条例の制定

町長、副町長及び教育長の給与の特例に関する条例

平成26年7月1日から平成27年3月31日までの間、左記の月額に定めるもの

町長 月額79万円を72万6800円に

審議の経過

議員 この時期に減額の理由は。

町長 西部町村で、本町だけが減額していない。

議員 他町の例をとり政策提案すると、他町は他町と言われる。真の理由は。

町長 財政は、いつものようになるのか分からない。

また、最初の登録から14年を経過した月の年度の次年度から20割のアップとする。

出席議員全員賛成で可決。

欠席者 安達幸博議員

副町長 月額63万2000円を61万3000円にする。

教育長 月額56万5000円を54万8050円にする。

反対者 竹永明文議員
松本利秋議員
梅林智子議員
中原明議員
佐々木求議員
小谷博徳議員
松原直人議員
中原信男議員
安達幸博議員

賛成者 賛成多数で、可決しました。

条例の一部改正

日野町税条例の一部改正（軽自動車税一部抜粋）

4輪以上 貨物用のもの

年額 4000円を5000円に

乗用のもの 年額 7200円を1万8000円に

課長 89万円の減額。

財政再建の途中であり備える必要と思う。議員 この条例による減額はいくらか。

決議の提出

参議院選挙制度改革における選挙区の「合区」案に反対する決議

(要旨)

地方の声が、直接国へ届かなくなるようでは、地域の広範な意見が反映されにくくなり、参議院の有意性が失われかねないと危惧するものである。

我々日野町議会は、地方の声を国政に届けるため、現行の都道府県単位の選挙区を維持した上で議論が進められることを望み、地方分権に逆行するような選挙制度改革、特に府県選挙区の「合区」案に強く反対することを決議する。

平成26年6月17日

鳥取県日野町議会

提出先 選挙制度協議会座長、委員

意見書提出

少人数学級の推進をはかるための、2015年度政府予算に係る意見書採択を求める意見書

(要旨)

少人数学級は、国における法改正や予算措置によって実施すべきものであり、2015年度政府予算編成において全ての都道府県で35人以下学級が実現されるよう強く求めます。

記

OECD諸国並みのゆたかな教育環境を整備するため、30人以下学級を視野に、全学年で35人以下学級とすること。

平成26年6月17日

鳥取県日野町議会

提出先 内閣総理大臣
財務大臣
文部科学大臣
総務大臣

小型除雪機の配置を

答助成制度の活用で



松本 利秋議員

議員 本町は、超高齢化社会を迎え、お年寄りが安心・安全に暮らして行けるまちづくりを推進しなければなりません。
特に、高齢者は積雪期の除雪に困っておられます。



ボランティアで除雪

小型除雪機を集落に配置し、ボランティアで除雪できないでしょうか。
町長 今のところ、町で小型除雪機を配置する考えはありません。除雪活動など高齢者が安心・安全に暮らせる地域づくりに努めていたただける集落につきましては、助成制度等の相談に応じていきたいと考えます。
議員 わが町支え愛活動支援事業は素晴らしい事業ですが、通知から申請までの時間が短く、事務手続きを検討されてはどうですか。
町長 申請窓口は町社協ですが、補助事業が継続されるようであれば、早めに周知できるよう社協と調整を図ってみたいと思います。



「わが町支え愛」マップ作り

親切な対応に心がけて

議員 お年寄りからタクシーの助成は有りがたいと声を聞きます反面、利用できなかったケースも耳にしました。
議会の当初予算審査の意見のとおりに、交通関係者の一層のサービス向上に努めて頂きたいと思います。

町長 町営バスの運行に加え、平成23年度からタクシー運賃の助成事業を行っています。

今後とも、高齢者の皆さんに欠かせない生活交通手段の確保につきましては、利用者の声に耳を傾けながら親切な対応に心がけ、充実に努めてまいりたいと考えています。

農政の大改革 町の対応は

答制度の取り組みを推進する



小谷 博徳議員



議員 政府は農業政策の大改革を打ち出しています。水田フル活用と米政策の見直しで、本町が示している水田活用ビジョンを聞かせてください。
町長 将来の地域農業の取り組みは予測できませんが、地域の特色ある特産野菜として、白ネギの作付推進を考えています。
課長 それ以外に、野菜の

多品目少量栽培の拡大や、そば等の導入で不作地の解消をはかります。
議員 農村の持つ多面的機能や、集落の維持管理を、共同作業で取り組む交付金がありますが、見通しは立ちますか。
町長 農業者や協定役員の高齢化等、状況は非常に厳しいものがあります。
農業生産不利条件を補正し耕作放棄地の発生を防ぐためにも、協定集落を維持しながら取り組んでいきます。

課長 この制度は農地・水・環境の代替えで、加入集落が少ないのが現状です。
今後さらに集落に向き推進をしていきたいと思っています。



小規模水田の管理

議員 国は、農地中間管理機構を作って、農地を集積し担い手に貸す仕組みを作りました。
条件の良い農地の集約を進めると、外れたところは荒廃農地となります。どういう推進を考えていますか。

町長 集落代表者会議で制度説明と、集落での取り組みをお願いしました。今後は、担い手の皆さんに制度の説明と取り組みの推進を図りたいと思います。

土曜日授業の考え方は

答アンケート調査を行う



安達 幸博議員

議員 本町の子供たちの土曜日の過ごし方について、どのように捉えていますか。
教育長 中学生は、多くの生徒が午前中、部活動をしています。



黒坂小

小学校低学年は家庭で過ごし、中・高学年はテニス、野球等の練習をしています。
議員 土曜日授業が県下の町村で導入され始めました。近隣町村における土曜日授業の様子や、動きについてどのように捉えていますか。
教育長 近隣町村では、学力向上、地域学習、地域交流の取り組みが行われています。



根雨小

議員 本町の土曜日授業の考え方や方向性を尋ねます。
教育長 一般論として学力の低下や、ゲーム依存する子ども達が増えています。土曜日授業の課題は、子ども達の負担増と、教員の勤務体制の調整です。

PTAや関係者へのアンケート調査を行い、可能であれば、取り組みを模索したいと思います。
議員 国では、教育改革が行われようとしています。教育に対して、町長の政策が反映されやすく権限が

強化される予定です。
土曜日授業の取り組みとあわせて、この改革をどう思いますか。
町長 本町の土曜日授業は、放課後教室や公民館活動の延長線のものであり、町民が望んでいる授業と違うと思います。アンケートの結果や先生方と議論し詰めていきます。
教育改革は、賛成です。
副町長 保護者の考えを聞くことが一番だと思います。
地域の歴史、文化を深める機会であってもいいと思います。

職員のメンタルヘルス対策は

答法に則した対策をとる



梅林 智子議員

メンタル不調の責任は

議員 どんなに良い政策を作っても、職員が元気でなければ形だけです。メンタル不調者が相次ぎ、退職者を出した要因と責任をどう考えますか
町長 現代はストレス社会。長時間労働や精神的ストレス等の様々な要因で不調者が出るが、各課長が職員の心身両面の健康管理に責任をもつてあたっていきます。

職員の健康を守るために

議員 労働安全衛生法に則した、毎月の委員会開催義務を守り、労働組合代表者複数名も同席の上、職員の全般的な健康管理体制の確実な促進を図る仕組みを持つた対策をとっていますか。
産業医も必要ですが、委嘱していますか。
町長 日野町安全衛生管理規定によって、総務課長・衛生管理者の保健師・担当



日野町職員労働組合掲示板

課長で、随時検討会をしています。
産業医は置いていません。

議員 今の体制は、法律違反になるではありませんか。
町長 早急に法に則した対

策をとるよう、週明けの月曜日（6月16日）から着手します。

タイムカードで 労務管理を

タイムカードの導入を検討すべきではありませんか。
町長 町長就任当初は考えましたが、今その考えはありません。

議員 労務管理のために、

地域の安心・安全ネットワーク構築を

◎慎重に検討・心がけていきたい



佐々木 求議員

議員 昨今の社会情勢は、小中高生が被害にあう、殺人事件・誘拐事件。お年寄りの認知にかかわる1万人にも及ぶ行方不明者など、生活弱者を守る課題が緊急となつてきています。

他方で、介護保険の改正に合わせ、お年寄りが地域で暮らし、地域で見守ることを盛んにうたい、要支援の方は地域で見守ることをしようとしています。

小学生の防犯ベルの点検・指導はなされています

か。

また、機能制限された携帯をケースによりみとめてはどうですか。

地域での指導者育成と、緊急時対応力育成のためにも、GPS機能を持つ機器の整備などでネットワークづくりが求められていると思うがどうですか。

防災体制の一つとして位置づけ、ネットワークを作り、全町携帯の電波のエリアとして整備された利点を生かすことができないですか。

町長 過去には不幸にも無くなられた方もいますので、それを防止できる仕組みづくりは必要であると感じています。

幅広いネットワーク作り

も必要ですが、最も身近な地域住民のネットワークこそが重要と考えています。

認知症の方をはじめ、要援護者の「支え愛マップ」等を作成し、地域で見守りを強化する取り組みを進めます。

教育長 防犯ベル実態については把握していません。

日常の電池の点検等は、各家庭で行って頂いている。

今回を機に再度指導します。

携帯電話は問題もあり、基本的に持ち込まない原則としています。



根雨小

出かける議会

報告・意見交換会

議会活動を知ってもらうと共に、町民の皆様の意見や声をお聞きし、行政に生かしていこうと、第4回目の日野町議会報告・意見交換会を、4月26日・午後6時から山村開発センターで開きました。



出席は、少人数でしたが活発に意見交換が行われました。

最初に、佐々木議長が主旨などを交えてあいさつをしました。

続いて、総務経済、教育民生、議会広報の各常任委員会、議会運営委員会から議会だより（平成26年4月発行・No.101号）を基に説明しました。また、併せて常任委員会での行政視察報告をしました。

これを受けて、意見交換が行われました。

町民の皆さまからは、

○議員の視察研修の成果をまちづくりに生かしてもらいたい。

○積雪時、日野高校生の通学にも影響があるので、根雨のまち部歩

道の除雪をする必要があるのではないか。

○3期目の景山町長就任後の新しい事業が、見えてこない。どうなっているのでしょうか。

○行政視察研修をされるなら、東日本大震災で被災された福島に行つて欲しいと思います。色々なことが発見でき、まちづくりに生かされると思います。

などの意見がありました。

議会では、意見について議論し、結果を報告します。

日野町議会報告・意見交換会を、今後も年に数回開催したいと考えています。

ご希望の自治会、団体がございましたら日野町議会事務局へご連絡ください。お待ちしております。

電話 72-0335

全国町村議会議長・副議長研修会

5月27・28日、東京メラルクホールを会場に、町村議会の議長・副議長が参集し、「これからの町村議会のあり方」というテーマで開催されました。

山梨学院大学教授 江藤俊昭氏が「住民と歩む地方議会」と題して基調講演をされました。

パネリストとして、

北海道大空町 近藤哲雄議長

神奈川県大磯町 奥津勝子議長

長野県南箕輪村 原悟郎議長

熊本県御船町 岩田重成議長が、



それぞれの町で取り組まれている議会改革の先進事例を発表されました。

2日目は、民族研究家結城登美雄氏による農山村の住民を主体とした地域づくりの手法「地域学」の講演。続いてジャーナリストの後藤謙次氏が「日本の政治経済の現状と今後の行方」と題して、永田町界隈の裏話など政治の流れを講演されました。

江藤教授の講演では、これまで議会改革に貢献してきたのは、住民に寄り添い直接接している小規模議会である。容易ではないが議会改革を超えて、自治体内の地域共同、住民自治を継続的に支援していくことが必要だと話されました。

特集 行動

がんばっている人・団体を、
シリーズで紹介します。

下黒坂 野菜出荷グループ

下黒坂野菜出荷グループは11軒。

週2回（水・金）岡山市場に野菜を出荷

しています。

少数・多品目で小売り用に袋詰めしたものに、一人ひとりの名前を付けて出します。直接お客様に届く品々。早朝に心をこめて準備します。



岡山市場の担当者たちと打ち合わせ

この日は、岡山市場の担当者が訪れ、今後の出荷予定を話し合いました。

夏野菜はこれから本番。

トラクタに積み込む直前まで冷蔵保存するなど、管理には気を遣います。

野菜出荷グループの会員たちは、健康を保つため、集落内のふれあい会館にある温水プールで筋力トレーニングを続けています。



下黒坂野菜出荷グループ

年に6回、水中ウォーキングの指導をJSS米子スライミングスクールからインストラクターの派遣を受けて、楽しく疲れた身体をほぐしています。

元気になった身体で、おいしい野菜づくりに頑張ります。

下黒坂野菜

出荷グループ 筆

あとがき

6月定例議会が終了した6月17日、公民館内にある「おしゃべりカフェ」におじゃましました。

カフェ来客者が4000人に達し、記念品の贈呈があったとか。有志の発案で昨年の6月にスタートして1年で達成され、素晴らしいことでありエールを贈りたいと思います。

美味しいコーヒーを頂きながらのおしゃべり。交流の場であり、気持ち安らぐ時でもあります。このような中で、マイカップを置く新企画も。一層楽しくなりそうです。膝を突き合わせた話し合いが一番です。将来のまちづくりについて話し合いがはずむとよいですね。 松本利秋 筆

議会広報常任委員会

委員長 安達 幸博
副委員長 松原 直人

佐々木 求
小谷 博徳
松本 利秋
梅林 智子